平成23年7月15日

各 位

上場会社名　株式会社ダイヤモンドダイニング
代表者　代表取締役社長 松村　厚久
（コード番号　3073）
問合せ先責任者　戦略事業本部　執行役員　経営企画部長 樋口　康弘
（TEL　03-6860-3250）

特別損失の計上及び業績予想の公表に関するお知らせ

平成24年２月期第１四半期におきまして、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたしますとともに、平成23年４月15日に公表いたしました「平成23年２月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました平成24年２月期の業績予想を下記のとおり公表することといたしましたので、合わせてお知らせいたします。

●特別損失の計上について
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額について
「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18 号 平成20 年３月31 日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21 号 平成20 年３月31 日)が当連結会計年度から適用されることに伴い、期首時点における影響額として、連結業績において120百万円を特別損失として計上いたしました。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	10,290	64	100	△65	△5,398.74
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成23年2月期第2四半期)	8,348	334	377	209	17,601.72

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	23,442	712	780	314	25,989.08
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期実績(平成23年2月期)	17,398	786	881	400	33,357.72

平成24年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	4,563	△83	△62	△123	△10,232.54
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成23年2月期第2四半期)	4,630	114	146	84	7,124.44

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	9,478	102	137	8	678.35
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期実績(平成23年2月期)	9,675	239	308	130	10,848.56

修正の理由

平成24年２月期業績予想につきましては、東日本大震災の影響を合理的に見積もることが困難でありましたため未定としておりましたが、平成23年６月１日付けにて子会社化いたしました株式会社バグースを含め、業績予想の算定に目途がつきましたので、上記の通り公表いたします。

東日本大震災直後の自粛ムードや消費マインドの低下は、月を追うごとに解消に向かっており、当社グループの売上高につきましても回復基調にあります。

このような状況下、当社グループでは引き続き、好立地物件に厳選した新規出店及び既存店のブラッシュアップに注力し、売上高の確保、店舗収益力強化に全力を挙げる一方、間接部門の費用節減にも積極的に取り組むことで収益性の向上に努めてまいります。

連結売上高につきましては、平成23年６月１日付けにて子会社化いたしました株式会社バグースのグループ入りに伴い、グループ全体の店舗数が54店舗増加（平成23年６月１日時点）することにより、増収を見込んでおります。

一方、利益面につきましては、上述の取り組みにより収益性向上等を図ってまいりますが、東日本大震災の影響を受けた第１四半期連結業績の落ち込みをカバーするまでにはいたらず、減益を見込んでおります。

（配当予想に関して）

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けておりますと同時に、将来の事業展開に備えて内部留保の充実に努めることを基本方針としております。

当社は、今後におきましても、当連結会計年度の業績動向及び財務状況等の水準を十分に勘案した上で、配当の継続的実施に向けて取り組んでまいりますが、現時点では、今期の配当につきましては、未定とさせていただき、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上